

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	中枢神経系理学療法学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験とその関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネータ2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
脳血管障害を主とした中枢神経疾患に対する理学療法の適用に関する知識と技術を学び、問題解決能力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、課題レポート、筆記試験の総合評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 神経理学療法学 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中適宜口頭試問、小テストを実施する。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学、脳の構造と機能について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	疫学、脳の構造と機能についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	講義の全体の説明 疫学、脳の構造と機能(大脳)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造と機能について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	脳の構造と機能についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脳の構造と機能(脳血管)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経の伝導路について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	中枢神経の伝導路についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	中枢神経の伝導路			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の代謝と循環について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	脳の代謝と循環についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脳の代謝と循環			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害発生のメカニズムについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	脳血管障害発生のメカニズムについてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	脳血管障害発生のメカニズム			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能回復のメカニズムについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	機能回復のメカニズムについてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	機能回復のメカニズム		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法以外の検査と治療について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	理学療法以外の検査と治療についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法以外の検査と治療		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスク管理について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	リスク管理についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	リスク管理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	今まで学んだ内容について振り返り、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	今まで学んだ内容についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	振り返り(1)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療と理学療法士の役割について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	チーム医療と理学療法士の役割についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	小テスト(1) チーム医療と理学療法士の役割		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	麻痺の評価について学び、実践できるようになる。	テキスト、配布資料	麻痺の評価についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	麻痺の評価(Brunnstrom等)		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	意識レベルの評価・治療について学び、実践できるようになる。	テキスト、配布資料	意識レベルの評価・治療についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	意識レベルの評価・治療		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理・精神面の評価と治療について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	心理・精神面の評価と治療についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	心理・精神面の評価と治療		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害に伴う痛みと感覚障害について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	脳血管障害に伴う痛みと感覚障害についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	脳血管障害に伴う痛みと感覚障害		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋緊張の評価・治療について学び、実践できるようになる。	テキスト、配布資料	筋緊張の評価・治療についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	筋緊張の評価・治療		